

一般社団法人健太いのちの教室

代 表 田村 孝行

この度は、宮城県共同募金会 社会課題解決「みやぎチャレンジプロジェクト」に、エントリーさせて頂き採択して頂きありがとうございました。募金活動を通して多くの方々からご賛同を頂き募金を頂き感謝申し上げます。

当団体の紹介をさせていただきます。

2011年3月11日東日本大震災が発生し、当時25歳の息子健太を勤務先でありました。管理下で命を失うことになりました。

この震災から命の大切さ、安全な社会へ向けてどうあるべきか等様々なことを考え学びました。この学びを現在・次世代へ生かし続けるため、息子の名前を取り一般社団法人「健太いのちの教室」を設立いたしました。活動に内容の柱として、活動の拠点であります女川町で震災の伝承とその学びをお話させて頂いております。また、組織管理下において、いのちをどう守るのか、「人の命を第一に考える社会をめざして」いのちを守る安全対策に関する普及・啓発を行っています。

募金を受けての活動は、女川町に銀行被災者家族会として、2015年3月にモニュメントを女川町医療センター駐車場下に設置し、そこから震災からの教訓を伝え続けて来ました。かさ上げ工事が終了に伴い2022年6月に女川町黄金にモニュメントを移設し、その場所をいのちの広場としました。今年1月には震災伝承施設に認定

登録されました。

いのちの広場は、「大切ないのちを考える場」そして災害から「命を守り切る」ための事前の備えができるようになるため東日本大震災の教訓から学べる場所にしたいと考えています。そのために今回の事業で、「命を守り切る」ためのメッセージパネルを設置します。

パネルには震災前後の女川町の様子分かる写真スライドや町民の方からの当時の様子を語るインタビュー映像や、私たちからのメッセージ動画のリンクを QR コードで貼り付けます。写真スライドと映像などで、いのちの広場を訪れた方々へ分かりやすく教訓を伝える機能を充実させます。

風雨・塩害等の浸食防止素材他を仕様し、未永く持続できるように加工をします。

風水害等によるパネル倒壊防止の基礎工事他の安全対策を万全に行います。

私たちがその場になくても、女川いのちの広場を訪れた方々へ東日本大震災の教訓を伝え続ける機能を充実させます。

募金に対する御礼として、募金振込み確認の際、御礼のお便りをお送りさせていただきました。また、後日改めて私たちの 2022 年度活動報告書の冊子を、御礼状と同封し送付をさせていただきました。事業のパネル設置の際、ご賛同頂きました方のお名前を刻ませていただき、皆様と一緒に次世代へ命のバトンを渡していきたいと思えます。

最後になりますが、改めまして心温まる募金を多くの方々から頂き、ありがとうございました。今後、事業推進に粛々と取り組んで参ります。